

タイの思い出

3年半の駐在生活

20数年前、タイに駐在した時の思い出を振り返ってみたいと思う。タイ生産工場設立のために赴任を命ぜられたのは、忘れもしない5月のゴールデンウィークの直前だった。海外での仕事？ 海外での生活？

不安で頭がいっぱいになった。楽しみにしていたゴールデンウィークを不安の中で過ごしたのを今でも鮮明に憶えている。

しかし、赴任が決まってからは、工場の操業開始に向け、タイに頻繁に出張し、投資申請、生産準備、現地人採用・教育等、1年半の目まぐるしい準備期間を過ごした。

その後、3年半のタイ駐在生活が始まった。住まいはバンコク、工場はアユタヤだった。車で約2時間かけて通った。仕事は大変だったが、半年位経つと徐々にタイの生活にも慣れ、タイを楽しむ余裕も出てきた。



使用した写真・イラストは、インターネットから引用しました

先ずゴルフを覚えることにした。日本よりはるかに安く楽しむことができた。平日は仕事が終わると練習場に直行し、休日は毎週コースに出るといふ、まさにゴルフ三昧の生活だった。

ゴルフの後はタイマッサージがお決まりのコースだ。通常、2時間コースでスタートする。最初は痛くて我慢できない位だが、徐々に気持ち良くなり眠くなり、時間延長することもしばしばだった。



タイは観光や料理の楽しみも多し。初めての海外工場という点もあり、工場視察という名目で日本から多くの出張者が来タイした。

出張者をもてなすのも駐在員の大切な仕事だ。まずは工場を案内する。次は近くのアユタヤ遺跡や山田長政が活躍した日本人町等を案内する。



食事はバンコクに戻りタイ料理だ。出張者に人気があったのは「コカレストランのタイ式しゃぶしゃぶ」と「ソンプーンの蟹カレー」だった。

デザートは果物の王様と言われるドリアンや果物の女王と言われるマンゴスチンだ。食後は日本人向け歓楽街として有名なタニヤ通りでカラオケを楽しむというのが基本的なガイドコースだった。



タイは、気候は温暖、人柄は穏やか、ゆったりと時間が流れている感じがした。私もいつしかタイが大好きになっていった。

3年半の駐在が終る頃には、定年後は永住権を取得しタイでゆつくりと暮らしたいと真剣に考えるようになっていた。

3年半のタイ駐在が終了し、間もなくして染井野に転居してきた。早いもので約20年になる。この地で知り合った仲間とゴルフやテニスを楽しみ、孫との触れ合いを楽しみながら平穏な日々を送っている。

タイで暮らしたいという気持ちもいつしかどこかに飛んでいってしまった。今はこの生活を大切に、生きていきたいと思っている。

坂本初男

編集後記

♪春の来い 早く来い♪

多くの方が卒業や入学・就職など人生の大きな節目を迎えられることと思います。

皆様に素敵な春が訪れるように…

春はすぐそこまで近づいてきていますよ！

A美

広告を載せてみませんか

ひとコマ年間一万円
(7・11・3月発行)

詳しくは事務所まで



塗装全般
住宅の塗装工事
うけたまわります
(株) 栄建ハウス
稲荷台 2-14-2
☎464-0382
携帯 090-4386-1456

うすい剣友会
剣道始めませんか!!

場所: 王子台小学校
時間: 金曜17:30~19:00
日曜15:00~16:30
入会金: ¥1,000 会費: ¥2,000/月
問合せ: **463-0436 (尾下)**
剣道着・防具は無料で貸出しています



家庭創作料理
たか子さんの台所
461-4894
飯重 896

営業日: 火・水・木・金
11:30~14:30 予約優先

